

特集

見逃しやすい

内

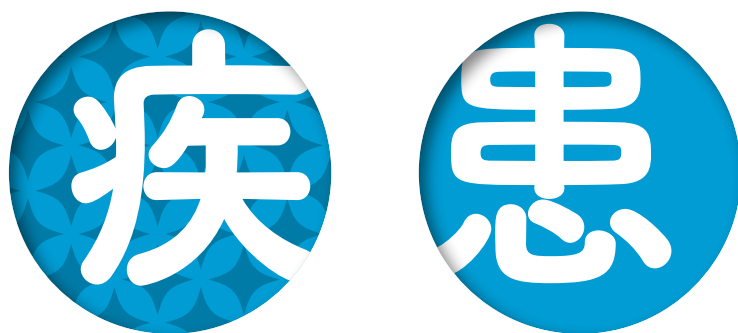
分

泌

このキーワード、
この所見で
診断する！

企画 | 片岡仁美 | 大塚文男

内分泌疾患患者に出逢うチャンスは少ないかもしれないが、日々の診療を行うなかで、内分泌疾患を診る機会は時にやってきます。そうした背景のなかで、病歴と診察から診断を絞り込み、過不足ない検査を行い、適切に専門医に紹介する、といったプロセスのすべてを、自信を持って行うのは、なかなか容易ではないことでしょう。内分泌疾患は、臓器別のアプローチのみならず全身を診ること、また、病歴を詳細に聞きとることが重要であり、総合診療医の力量が大いに発揮される分野です。本特集では、“日常臨床で出会う内分泌疾患をいかに想起し、適切に診断するか”という課題に対し、今日から使えるtipsを散りばめたケース・ディスカッションで、「このキーワード、この所見で診断する!」ことを学べる企画にしました。



今月の Questions

- Q1 内分泌疾患を「疑う」時には…? >>> 1022
- Q2 先端巨大症患者の経過観察で大事なことは何か? >>> 1025
- Q3 動悸を訴える患者を診た時に鑑別すべき疾患は? >>> 1029
- Q4 認知障害が疑われる患者の初診検査で、留意すべき項目は? >>> 1032
- Q5 ホルモン採血の解釈で留意すべき点は? >>> 1036
- Q6 典型的なプロラクチノーマの臨床像は? >>> 1040
- Q7 低張性の多尿を呈する疾患の診療で留意することは? >>> 1044
- Q8 高血圧と低K血症が併存する場合に疑う疾患と、行うことは? >>> 1048
- Q9 発汗異常を伴う発作性高血圧において、褐色細胞腫をスクリーニングするポイントは? >>> 1052
- Q10 肥満・糖尿病から、Cushing症候群(CS)を疑うべきか? >>> 1056
- Q11 成人GH（成長ホルモン）分泌不全症を見落とさないためには? >>> 1061
- Q12 尿路結石の患者に高Ca血症を伴う時、確認すべき検査所見は? >>> 1065
- Q13 肥満と多毛症を合併した女性患者の鑑別上、可能性の高い疾患は? >>> 1068
- Q14 小児の成長を評価する際に、問診と身体所見からある程度鑑別できる疾患にはどんなものがあるか? >>> 1072